

## 再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道防災課  
担当課長名：三浦 真紀

事業名：地域高規格道路 <small>たかやまける</small> 高山下呂連絡道路 一般国道41号 <small>いしうら</small> 石浦バイパス	事業：一般国道 区分：	事業：国土交通省 主体：中部地方整備局		
起終点：自：岐阜県高山市久々野町久々野 至：岐阜県高山市千島町	延長：	9.2km		
事業概要： <p>一般国道41号は、愛知県名古屋市を起点とし、愛知県犬山市、岐阜県高山市などの主要都市を経て富山県富山市に至る延長250kmの主要幹線道路です。</p> <p>本事業の一般国道41号石浦バイパスは、岐阜県高山市久々野町から岐阜県高山市千島町に至る延長9.2kmのバイパスであり、冬期交通の安全性・信頼性の向上、交通事故の削減、救急医療活動の支援を主な目的として事業を推進しています。</p>				
H12、15年度事業化 H12年度都市計画決定 H16年度用地着手 —				
全体事業費：425億円 事業進捗率：9% 供用済延長：0.0km				
計画交通量：16,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C： (事業全体) 1.3 (残事業) 1.5	総費用：(残事業)/事業全体 324/367億円 (事業費：289/332億円) (維持管理費：35/35億円)	総便益：(残事業)/事業全体 479/479億円 (走行時間短縮便益：394/394億円) (走行経費減少便益：69/69億円) (交通事故減少便益：16/16億円)	基準年： 平成24年
感度分析の結果				
(事業全体) 交通量：B/C=1.2~1.4(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.3~1.6(交通量±10%) 事業費：B/C=1.2~1.4(事業費±10%) 事業費：B/C=1.4~1.6(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.0~1.5(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.1~1.7(事業期間±20%)				
事業の効果等				
①円滑なモビリティの確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。</li> <li>・利便性の向上が期待できるバス路線（濃飛バス）が存在する。</li> </ul> ②物流効率化の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる。</li> </ul> ③国土・地域ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高規格道路の位置づけあり。</li> <li>・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> ④個性ある地域の形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な観光地（高山市等）へのアクセス向上が期待される。</li> </ul> ⑤安全で安心できるくらしの確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設（高山赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> ⑥災害への備え <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次緊急輸送道路として位置づけられている。</li> <li>・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。</li> <li>・現道等の防災点検箇所が解消される。</li> </ul> ⑦地球環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量の削減が見込まれる。</li> </ul> ⑧生活環境の改善・保全 <ul style="list-style-type: none"> <li>・NO2排出量の削減が見込まれる。</li> <li>・SPM排出量の削減が見込まれる。</li> </ul>				
関係する地方公共団体等の意見				
地域から頂いた主な意見等： <p>益田地区商工会連合会他より事業促進要望を受けている。</p> 岐阜県知事の意見： <p>対応方針（原案）案のとおり、事業の継続について異存ありません。</p>				

今後の事業実施にあたっては、県内における他の直轄道路事業の進捗状況や優先度を踏まえ、本県と十分な調整をしていただくとともに、コスト削減の徹底をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」することは「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・国道41号現道は、平面・縦断ともに道路線形が厳しいため、積雪時には大型車のスタックの危険性が高い。
- ・国道41号現道は、急勾配・急カーブが連続しており、特にヘアピンカーブを中心に事故が多発している。
- ・一之宮地区から高山市街地への主要幹線道路は、国道41号しか無く、国道361号へ迂回する場合、約20分の遅れが発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

事業進捗率9%、用地取得率44%(平成23年度末)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・高山市久々野町久々野～高山市一之宮町間 (L=4.7 km) は、早期2車線供用を目指す。
- ・高山市一之宮町～高山市千鳥町 (L=4.5 km) は、早期暫定2車線供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

- ・橋長の縮小、法面部の盛土化により、約2億円のコスト削減を図っています。
- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進していきます。

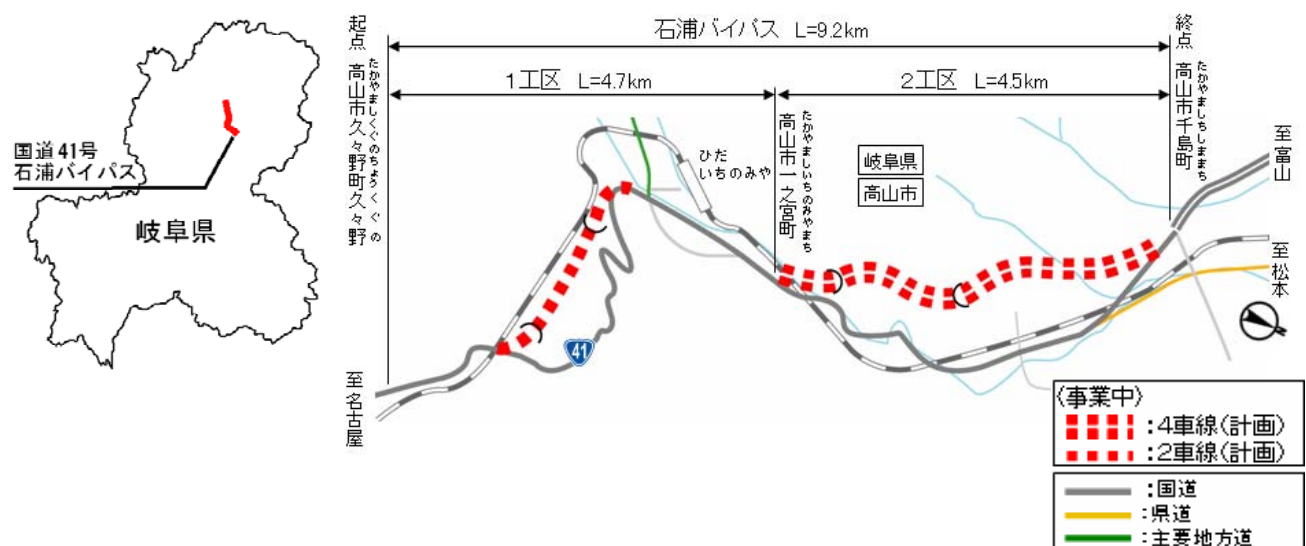
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。